

## ご協力下さい

—小千谷土木事務所—

### 道路交通状況情勢調査を 実施します

県では、全国一斉に自動車の利用状況を調べる道路交通情勢調査を行います。  
この調査は、「皆様が日頃の生活の中で自動車をどのように使われているか」を調べ、将来の道路の計画や建設などについての基礎資料とするものです。  
調査員がお宅に伺いましたら、調査に御協力ください。  
◆調査時期  
十月の中旬から下旬

### 献血功労者に 表彰

日本赤十字社では、献血に協力された方に対して表彰を行なっています。  
このほど、町内の次の方々が表彰されました。  
関 博之(新敷)  
星野 道夫(川口七)  
宮 俊夫(堀之内)

### 補聴器相談会

10月18日(木)  
午前9時30分～正午  
末広荘

星野 晃男(川口四)  
阿部 恒雄(武道窪)  
◆問い合わせ  
新潟県小千谷土木事務所  
☎〇二五八―八二六三六一

### あなたの車は あなたのものですか?

### 自動車をお持ちの 皆さんへ

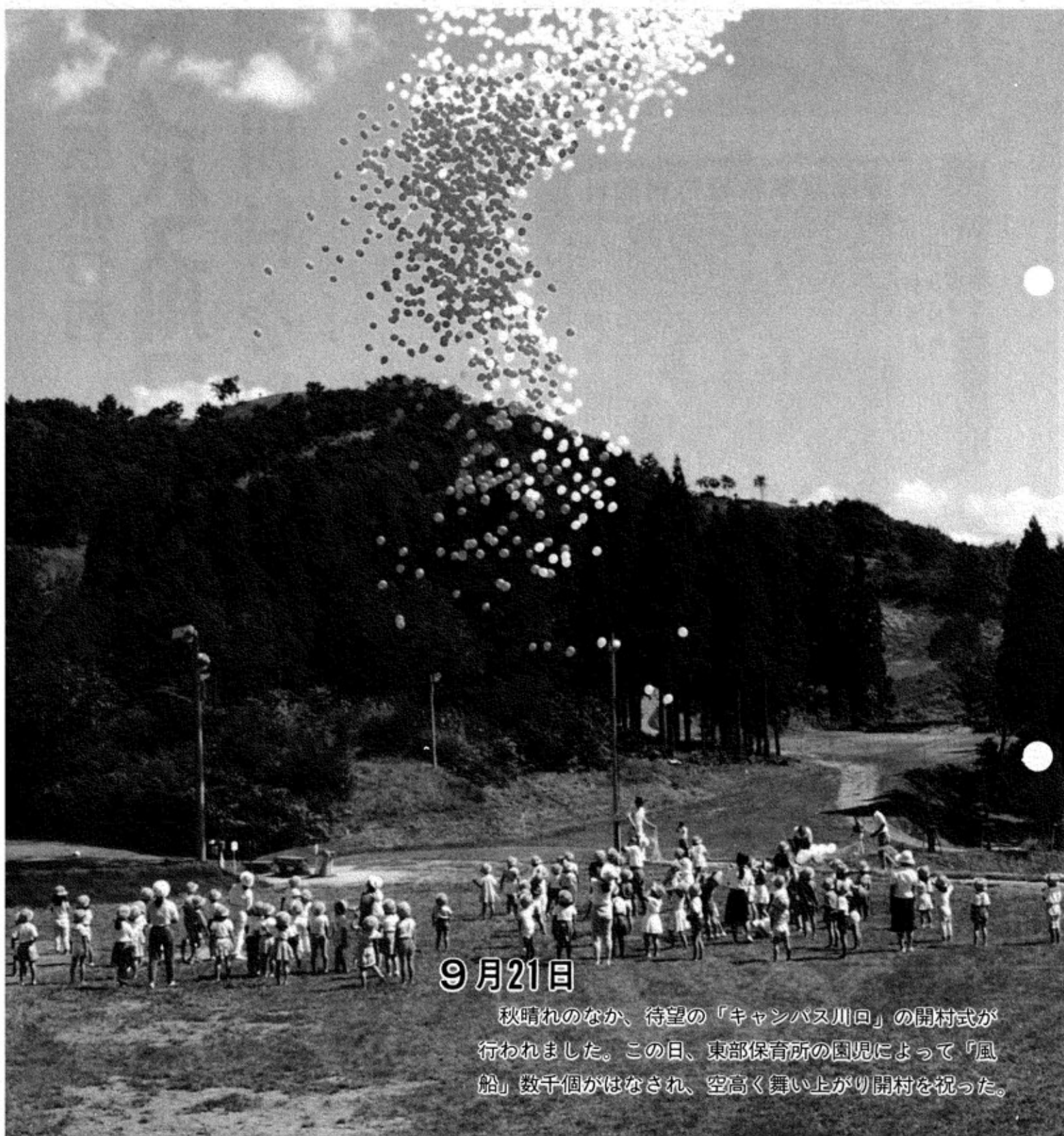
最近、自動車の登録手続きの怠り等から、車に関するトラブル、問い合わせ、苦情等が多くなっています。  
登録手続きは、所有者または、使用者にその義務があります。が、手続きが遅れるとその間に、車の所在がわからなくなったり、当事者が行方不明になったりして、名義変更、廃車が非常に面倒になったり、場合によってはできなくなることもあります。  
また、廃車や譲渡したつもりでも自動車税の納税通知が届いたり、交通事故や犯罪等で思いもよらぬ事態が生じたりすることもありますので、登録手続きは正確に行ってください。  
なお、登録手続きは、業者に依頼するケースが多いようですが、あなたの車の自動車検査証があなたの正しい使用

### 町民文化祭作品募集

展示期間 11月2～3日AM9時～PM5時  
会場 福祉センター  
部門 絵画、書道、写真、彫塑、工芸、手芸、菊花  
申込み 11月1日までに教育委員会へ  
☎(89) 3111  
搬入 11月1日 AM9時～PM1時  
搬出 11月4日 AM9時～12時

(所有)名義になっているか確認して下さい。  
自動車検査証及びナンバープレートは、名義変更、廃車等の手続きを行う場合に必要なものですから、紛失しないように大切に取扱いして下さい。詳しくは、次のところにお問い合わせ下さい。  
新潟ナンバー  
新潟陸運支局登録課  
☎〇二五―二八五―三二二  
長岡ナンバー  
長岡自動車検査登録事務所  
☎〇二五八―二二二―三二二

人口	6,427人	平成2年10月1日現在
男	3,128人	
女	3,299人	
世帯数	1,512戸	



9月21日

秋晴れのなか、待望の「キャンパス川口」の開村式が行われました。この日、東部保育所の園児によって「風船」数千個がはなされ、空高く舞い上がり開村を祝った。

### おもな内容

「キャンパス川口」が開村……………2～7	県ジュニアリーダー研修……………15
平成元年度町の決算……………8～12	消防団総合演習……………16
長寿を祝福し……………13	農業振興まつり……………17
「荒屋遺跡」の発掘調査記録の刊行……………14	スポーツコーナー……………18～19

# 滞在型家族旅行村

# 「キャンパス川口」が開村

## ユートピア

九月二十一日、滞在型家族旅行村、愛称「キャンパス川口」の開村式が、高原に町内外者約二百四十名を招待して盛大に行われました。



## 開村を祝う

この滞在型家族旅行村は、二十一世紀に向けた新しい町づくりと町の活性化を目指したユートピア構想、三つの大型プロジェクト（「野外学習のむら」「生涯学習のむら」「原始古代むら」の三つのむら）づく

り）を導入して進められていくもので、そのプロジェクトの一つ、野外学習のむらが完成し、このたび開村となったものです。  
祝砲が轟き  
開村式は、ピクニック緑地



とファミリーゴルフ場のエントランス広場で、午前九時三十分から開村の安全祈願が行われた後、同十時三十分オープンセレモニーが始まり、大勢の人達が見守る中、祝砲が轟き、テープカット、続いて久寿玉

が割れ、中から祝キャンパス川口の文字が現われ、集まった人達から大きな拍手とともに開村を喜んで祝った。また、数千個の風船と数十羽のハトが、秋晴れの空に舞い上がり、オープンセレモニーを飾った。

式辞、県知事をはじめ運輸省新湯運輸局長、国会議員から祝辞が行われた。  
青柳町長は式辞の中で、家族旅行村が完成し、開村式典を迎えられたことに対し、国及び県、関係機関、協力していただいた地権者の皆さんに感謝を述べるとともに、次のように述べた。

## 町の将来に向けた新しい地域づくりと活性化に大きく寄与

我が川口町は、母なる川、信濃川と清流魚野川の合流点に位置し、「風光明媚」にして、四季折々風情に富んだ、「水清く」「緑映えて」「風薫る」人情極めて豊かな町であります。

ふまえましてこの高原地帯を「定住構想の核」として又、誘客の資源として、スポーツとロマンのファミリーレクリエーションビレッジの建設を大きく進めておるところであります。

アクセスは、JR上越線と飯山線の分岐点として、また、国道十七号と国道一七号が横断する上に全国最大規模を誇る関越高速自動車道のインターチェンジが設置されております。交通の要衝の地であります。

こうした恵まれた環境の中で建設されました本事業は、国庫補助事業の中規模観光レクリエーション地区施設整備事業を主体に、県の地域バイタリティ育成事業を合わせ実施致したものであります。昭和六十年基本調査及び基本計画を作成、昭和六十一年事業

## 特集



認可を賜り工事に着手いたしました。総事業費三億三千万円で完成致したものであります。施設の概要につきましては、主なものは、二十サイト水洗トイレ付きの「ピクニック広場」「ローラースケートロード」、二千六百ヤード、十八ホール、パー五十四の「ファミリーゴルフ場」「モニメント」「レストハウス」、などでありまして、総面積は八十二ヘクタールに及んでおります。

さて、国民の余暇時間の増大、生活様式の多様化、そして人生八十年にふさわしい、ゆとりのある国民生活の実現を図る必要があると致しまして、「リゾート法」が制定され、今また「パークンス法」が取りざたされておりますとき、当町はさきに「リゾート法」に基づく新潟県の「重点整備地域」の指定をいただきましたのを機会に、三つの大型プロジェクトを進めております。即ち、それが「野外学習のむら」づくり、「生涯学習のむら」づくり、そして「原始古代むら」の建設であります。

第一の「野外学習のむら」づくりにつきましては、美しい自然の中で家族共々自然と人間とのふれ合いが、やがて人間と人間とのふれ合いに移行出来る「おもいやりの心」を育てる学習の場を建設しようとするものであり、  
第二の「生涯学習のむら」づくりは、人生八十年の高齢化社会を迎えて、そのライフスタイルを八十年に合わせた「うるおい」と「やすらぎ」をもてる楽しい人生につくり変えようと、民間活力を導入致しまして、事業を進めておるものであります。  
第三の「原始古代むらの建設」につきましては、当町は今から一万三千年前の石器時代後

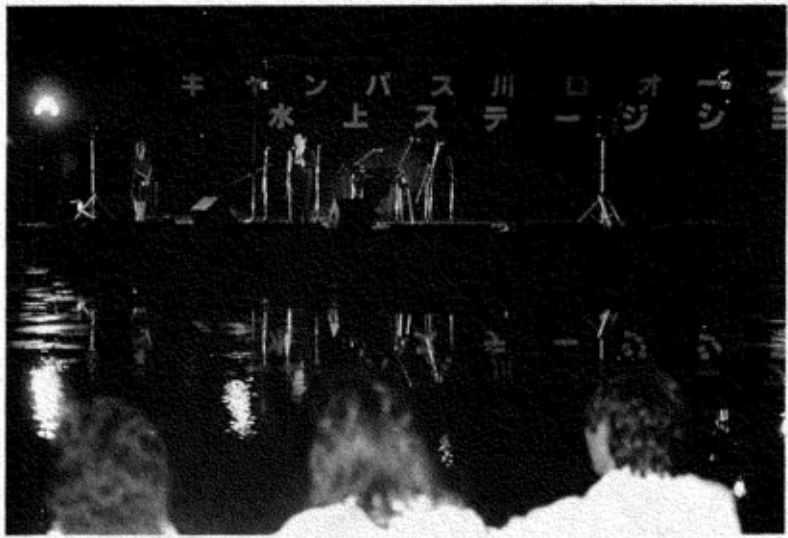
期の日本最古の遺跡のある町であります。青少年の開拓者精神を培いながらふれ合いを高め、豊かな人間性を育む道場を建設するものであります。この「原始古代むら」を越えれば、そこには新しいニーズに応えられる近代設備を誇る「野外学習のむら」があり、人生八十年に向けてのライフスタイルを変える事の出来る「生涯学習のむら」がある、こんなユートピアを建設致しました。これを滞在型家族旅行村、愛称「キャンパス川口」と名づけたものであります。この第一の「野外学習のむら」が、本日御臨場の皆様方の温かい御指導と御協力によりまして、見事に完成をみたものであります。  
本当に有り難うございました。新しい時代の要望にこたえることのできる「ユートピア構想」の第一関門を見事にクリア致しましたことは、川口町の将来に向けた「新しい地域」づくりと「活性化対策」に、大きく寄与するものと信じております。  
心から厚く御礼を申し上げるものであります。

# キャンパス川口開村記念事業

## 華やかに「夜の水上ステージショー」

### 「町民ゴルフ大会」でプレーを楽しむ

キャンパス川口開村を記念して、二つのイベントが行われた。九月二十二日、ピクニック広場で夜の水上ステージショー、ゴルフ場で「町民ゴルフ大会」が行われ、プレーを楽しんだ。その模様をカメラでスクリーン、華やかに繰り広げられた。また翌日の二十三日、川口チ、リポートします。



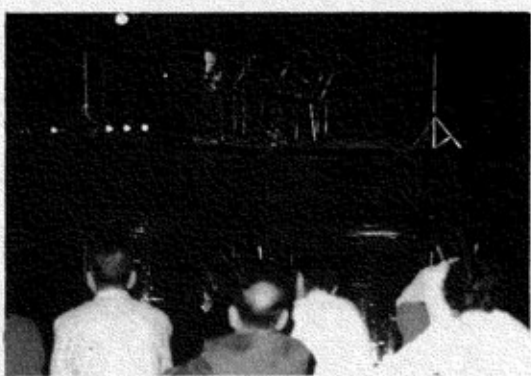
▲水上ステージショーの文字もくっきりと夜のドングリ池に映える（ピクニック広場）



▶アマチュアバンドによる「コンサート」



▶川口まつり優勝者のカラオケ競演も行われ、自慢のものを披露

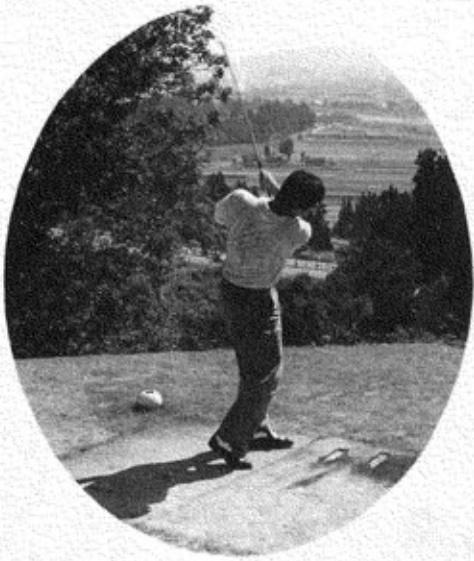


▶ドングリ池の回りは大勢の観客が訪れ野外ショーのひとつを楽しんだ。



## 町民ゴルフ大会

七十五人が出場



### 町民ゴルフ大会結果

#### NET部門 (ハンディあり)

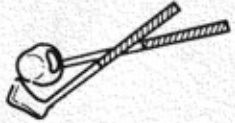
優勝 星野紀博  
準優勝 佐藤俊治  
3位 山下孝正

#### GROS部門 (ハンディなし)

優勝 綱寅吉  
準優勝 山下孝正  
3位 佐藤靖邦  
(3位まで)

#### レディースの部

優勝 中林紀代子  
準優勝 小西幸子  
3位 保科キヨ



### 東京からの便り

#### 素晴らしかったオートキャンプ場

前略 川口町長様

突然のお手紙失礼致します。初めまして、私は神奈川県横浜市青山と申します。

先日、夏休みに三泊四日(八月九日から十二日)で、川口中山高原オートキャンプ場でお世話になりました。

全国初の各サイトにトイレ、炊事場を設けるとい画期的な試みのキャンプ場ということ、期待をして行きました。期待通りの大変素晴らしいキャンプ場でした。管理の二人のおばさんは、水道がおかしいと言え、すぐ直しに来てくれる手際の上と、直してくれた、おじさんの人柄、感じの良さ、今でも目に浮かびなつかしいです。

でも、これからの川口キャンプ場を利用させていただくための要望が、一つだけあります。それはテントサイトの事です。芝生もしくは全面すのこにしていただきたいです。ちよと運が悪かったせい

もあって、三日間とも雨に降られ、足もとがドロドロでした。せっかくのキャンプ場のいい所が、テントサイト一つでガッカリしました。そして帰ってきて、どうしても越後川口を忘れられず、もしかしたらもらえればと思い、筆をとりました。

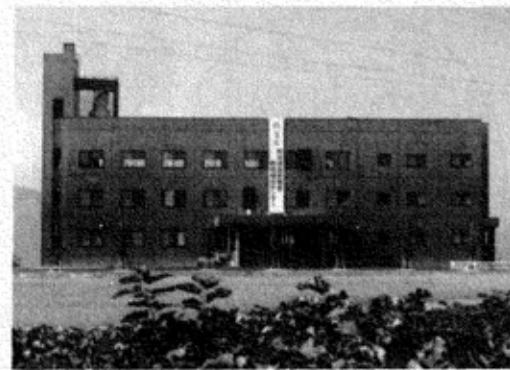
もし、この願いがかなえられたら、川口オートキャンプ場は日本一だと思います。食べ物も皆新鮮で、一番珍しかったのは、二つに分れてる茄子、生れて初めて見ました。最高においしかったです。近くのスーパー安田屋さんに行った所、年配の方が話しかけてくれたり、売場の方はとても親切でした。そうそう、酒屋さんのおばあさんが、おまけ(菓子)をくれました。とてもうれしかったです。一つひとつが本当に思い出されます。是非、是非、町長様の力で来年までに宜しく願っています。

帰ってくる時には、管理のおばさんと相談して、いいサイトを聞き、来年の予約サイトの番号も決めてきました。

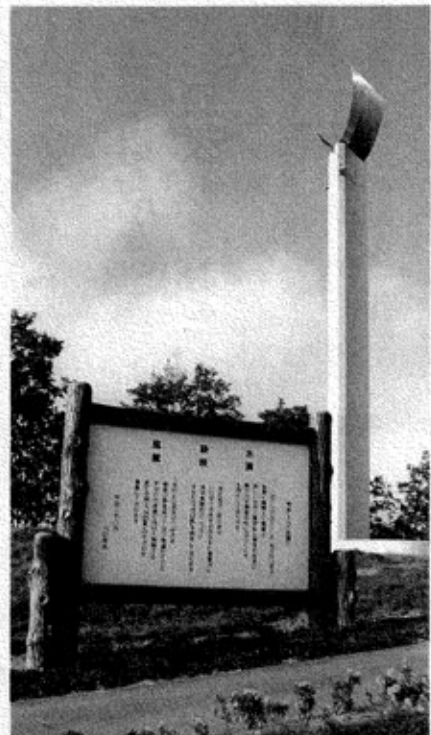
かしこ



▲ピクニック広場



▲サン・ローラ川口



▲モニュメント

# キャンパス 野外学習の



▲オート  
キャンプ場



▲ファミリー  
ゴルフ場

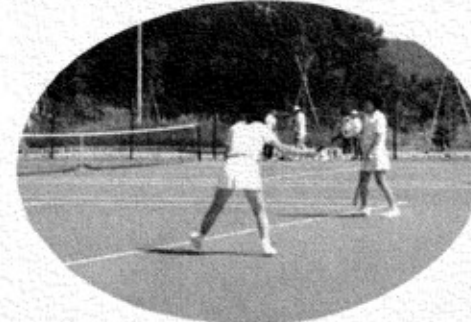


▲ローラー  
スケートロード

# 川口 むら 主な施設



▲野球場



▲テニスコート



▲遊歩道



▲総合運動公園 (空撮)



▲自然観察池



▲キャンプ場

## 申込み問合せは

川口町役場  
運動公園事業局

0258 (89) 4171  
(管理事務所)  
0258 (89) 3333  
(ゴルフ場)

- ・自然環境活用センター(木造二階建、延面積二百九十七㎡、食堂・研究室等)
- ・遊歩道(林間遊歩道、往復十km、休憩所三カ所)
- ・釣り堀(二面、観賞池一カ所)
- ・体験農園(普通畑)単独事業
- 昭和60年度
  - 観光レクリエーション地区施設整備事業(家族旅行村)認可(運輸省)
- 昭和61年度
  - ・新潟建設労働者研修福祉センター、愛称サン・ローラ川口(鉄筋コンクリート三階建、延面積千五百二十六㎡、研修室、宿泊室、レストラン、駐車場他)労働省)
  - 昭和61年度、平成元年度
    - ・オートキャンプ場(オートキャンプサイト・二十サイト、野外炉、野外卓、炊事場、)
- 昭和62年度
  - 総合保養地域(リゾート法)の重点整備地区に指定される。
- 昭和63年度
  - 生涯学習のむら整備計画策定事業実施町の指定を受ける。
- 平成二年・キャンパス川口開村

- 昭和54年度
  - 農村地域定住促進対策事業認可を受ける。(農林水産省)
  - 総合運動公園建設着工
- 昭和55年度
  - 総合運動公園が完成(公園面積三十万㎡)、スポーツの町宣言
  - 野球場(両翼九十二m、中堅百二十m、ナイター照明完備)
  - 多目的広場(現在、改修が行われ一周四百m、陸上競技公認第四種)
  - テニスコート(七面、全天候型、ナイター完備)
  - フィールドアスレチックコース(二十六ポイント)通過(産省)
  - 管理事務所(鉄筋コンクリート二階建、延面積三百二十
- 昭和56年度
  - キャンプ場(テントサイト三十カ所、林間広場、炊事場、野外炉、便所)
  - 川口農村教養文化体育施設(鉄骨造、延面積九百五十七㎡、バレー、バスケット、テニスコート各一面共用、バトミントンコート三面、卓球台四台)労働省)
  - 動物物観察池(ミズバショウ、菖蒲池他)新潟県)
- 昭和57年
  - 児童遊園地(日本道路公園)
- 昭和58年、59年度

## 開村式にいたるまでの 主な経過

当時は、これまで「健康にしよう」とある定住条件を満たすために「をテーマに、国庫補助事業を大幅に導入し、環境整備事業をはじめ、各種の事業を積極的に進め、この開村式に至るまでの主な経過と完成した施設を紹介いたします。

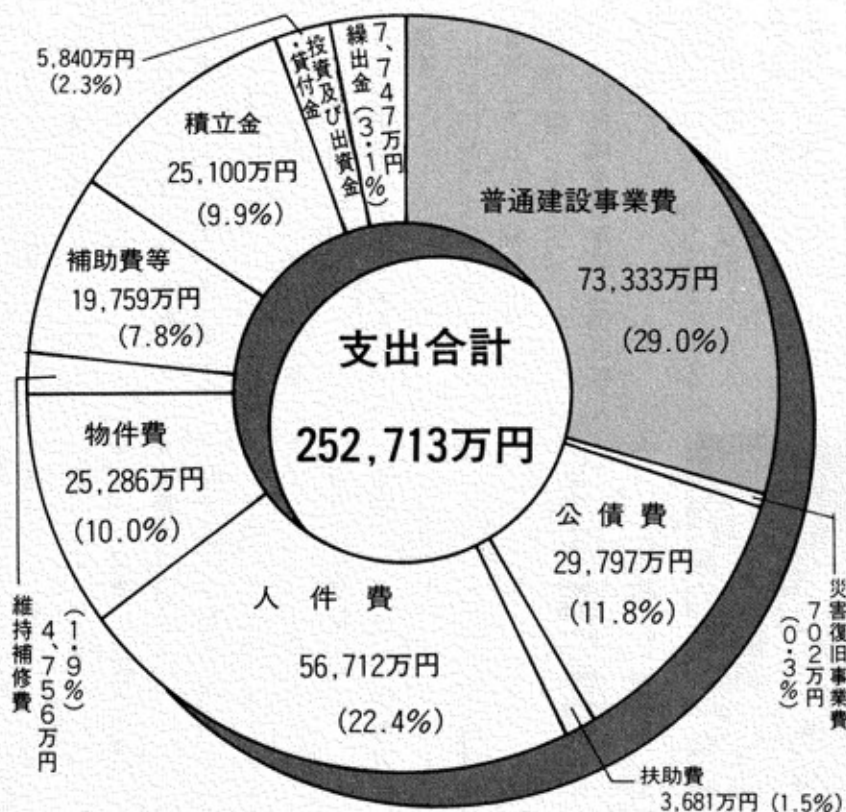
なお、年度は事業の施行年度及び完成年度、( )内は施設の内容と国・県補助事業の導入官庁等、官庁等の記載のないのは全て農林水産省。

- 昭和54年度
  - 芝生広場(休憩所、花壇)
  - 駐車場(三カ所、三百台収容)
  - 新農村地域農業改善事業認可(農林水産省)
- 昭和56年度
  - キャンプ場(テントサイト三十カ所、林間広場、炊事場、野外炉、便所)
  - 川口農村教養文化体育施設(鉄骨造、延面積九百五十七㎡、バレー、バスケット、テニスコート各一面共用、バトミントンコート三面、卓球台四台)労働省)
  - 動物物観察池(ミズバショウ、菖蒲池他)新潟県)
- 昭和57年
  - 児童遊園地(日本道路公園)
- 昭和58年、59年度

# 平成元年度

## 活力と安全快適で 豊かな郷土づくりに向け

限られた  
お金を  
有効に使う



オートキャンプ場、ファミリーゴルフ場などの観光施設の「使用料」収入が5122万円、補助事業による「県補助金」が4970万円などとなっています。

支出では、家族旅行村（観光レクリエーション地区施設整備事業）建設やゴミ処理場建設に伴う広域事務組合（小千谷市・川口町・山古志村）への負担金、下水道事業及び水道新規

拡張事業による、簡易水道の特別会計への繰り出し、公共施設の整備やふるさとづくりのための基金積立などとなっています。

**又** 収入、支出を平成元年度末日の世帯数（一五一〇戸）で割ってみると、一世帯あたりの収入が約183万円、支出が約167万円の計算となり約16万円の黒字がでたこととなります。

### 平成元年度の町の姿 (平成2年3月末現在)

面積	50.03km <sup>2</sup>	小学生	589人
人口	6,436人	中学生	286人
道路延長	117.1km	出生	105人
し尿	2,633.87kℓ	死亡	64人
ごみ	1,477.35t	転入	130人
給水人口	5,515戸	転出	173人
保育園児	242人	結婚	98人

### 町の財産

区分	施設名	建物面積	施設名	土地面積
行政財産	学校・保育所他	33,548㎡	学校・公園他	463,260㎡
普通財産	教員住宅他	1,243㎡	山ノ相川跡地他	1,013,339㎡
簡易水道	中央簡易水道他	426.15㎡	中央簡易水道地	3,809㎡
ガス	各地区ガバナー室	164㎡	各地区ガバナー室	1,697.23㎡
国民健康保険	医療施設	493㎡	医療施設	1,210㎡
合計		35,874.15㎡		1,483,315.23㎡

年度73・2%から5・5ポイント減少し、67・7%と好転しました。

公債費比率（一般家庭でいえばローンなどで購入した品物の代金が収入に占める割合）も前年度13・0%から1・6ポイント減少し、11・4%となりました。

町では、このように健全財政を堅持しながら、町政の指針「人間性豊かな調和のとれた活力のある温かい町づくり」に向けて、各分野の定住環境整備を大きく進めています。

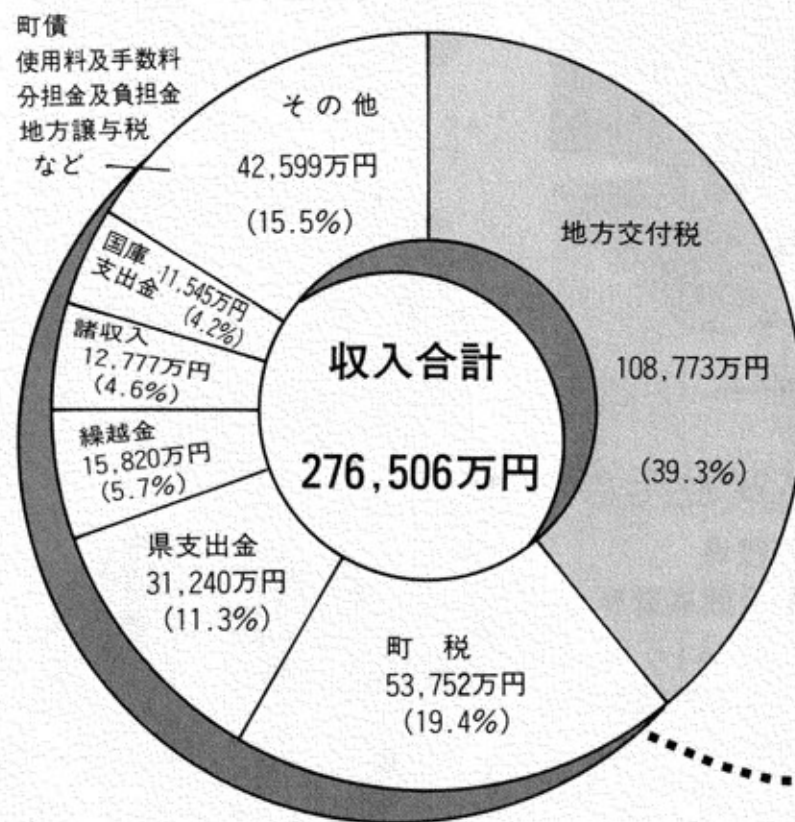
# 町の決算

## 25億2,700万円 (一般会計)

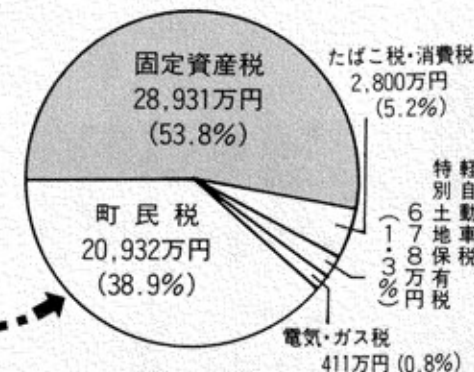
### 決算特集 平成元年度

平成元年度の決算がまとまりました。現在、先月二十八日から開会した九月定例議会において審議が行われています。決算は、一般会計年度（四月一日から三月三十一日）の収入、支出結果の実績を示す町の家計簿でもあります。

そこで、みなさんから納めていただいた税金や国・県の補助金などが、いくら入ってどう使われたかを、表やグラフで示しながら、平成元年度の決算のあらましをお知らせします。



### 町税の内訳



**町** の台所は決して裕福ではありませんが、平成元年度も限られた財源を最大限に活用し、活力があり安全快適で豊かな郷土の建設を目指して、いろいろな事業を行ってきました。

**平** 成元年度の一般会計決算は、収入（町に入ったお金）が27億6506万円で、支出（町が使ったお金）が25億2713万円、翌年度繰越財源（翌年度へ繰越した事業に使うお金）1億1021万円となり、差し引き1億2772万円の黒字決算となりました。

**前** 年度と比べてみると、収入は2億5131万円（10%）増え、支出も1億7159万円（7.3%）増えています。

**増** えた主なものをみると、収入では、国から交付された「地方交付税」が8426万円、旧国鉄民営化に伴うJR資産に課せられる固定資産税等の「町税」が5448万円

### 費目別の支出状況

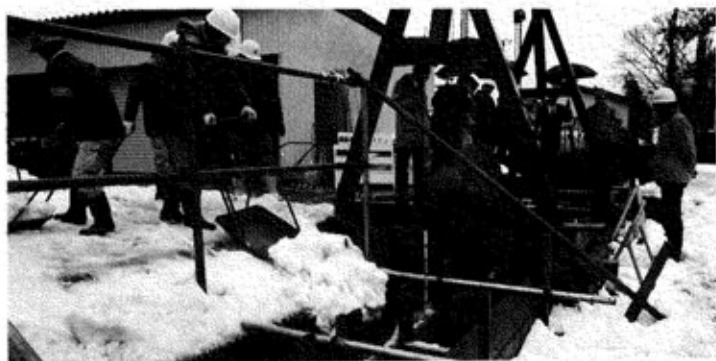
農水産・商工労働費	土木・消防災害復旧費	公債費	総務費	民生・衛生費	教育費	議会費
668,488千円 (26.4%) (442,707円)	460,633千円 (18.2%) (305,054円)	297,965千円 (11.8%) (197,327円)	509,793千円 (20.2%) (337,611円)	372,416千円 (14.8%) (246,633円)	161,274千円 (6.4%) (106,803円)	56,568千円 (2.2%) (37,462円)
農・商・工振興産業基盤の整備など	道路改良補装小千谷地域広域組合負担金など	借入金の返済金	町を運営するための一般事務費及び基金積立金	各種検診、老人福祉、保育所費	小・中学校や給食、社会教育にかかる経費	議会の運営に関する経費

# 1億2772万円の黒字決算

## 健全財政を堅持…… 頑張りました

### 生活環境の整備

- 道路の改良・舗装(二十七路線)
  - 松沢線改良(二五七m) 国庫補助事業、岩出原荒屋線改良(二四九m)、田麦山線改良(二二二m)、他十六路線、改良総延長二、二六七m。
  - 中山竹田線舗装(三三五m) 国庫補助事業、松沢線舗装(四〇〇m) 同、西川口線舗装(三〇二m) 他五路線、舗装総延長一、六二〇m。総事業費二億五、〇六〇万五千元



▲「克雷タウン整備共同事業」雪処理実験

- 克雷タウン整備共同事業 (国庫補助事業)
  - 流雪溝にブラスターポンプを設置し、屋根雪、道路雪を処理する実験事業(東部地区) ブラスターポンプ二台、操作盤一式、記録計一式、総事業費六二九万二千元。
  - 凍雪害防止事業(国庫補助事業)
    - 原新田線流雪溝設置工事、延長二八八m、幅員五〇〇m、総事業費二千万円。
    - 建設機械整備事業(国庫補助事業)
      - ロータリー除雪一台、三〇〇PS級、購入価格二、五六四万七千元。
      - 河川改修
        - 裏田堰、前島排水路、大平水路改修(東部地区)、総工費四七三万円。
        - 下水道事業
          - 平成二年度着工に向けて、公共下水道事業認下設計及び実施設計。地質調査などを実施、総事業費一、五一四万三千元。(国庫補助事業)
          - 防火水槽(五基)
            - 相川四基、荒谷一基
            - 消火栓(六基)
              - 新設：牛ヶ島三基、川岸町

### 生産基盤の整備

- 農村基盤総合整備事業(国庫補助事業)
  - 一基、東部一基
  - 改良：武道窪一基
  - 消防器具置場改修(前原)
  - 克雷住宅資金貸付
    - 克雷住宅(融雪、落雪、耐雪方式)の新築又は改良を行う人に、その建築資金の一部の融資と利子補給(補助)をする町独自の制度とし昭和六十三年度からスタートしたもので、平成元年度利用件数は七件。



▶ 岩平地区「畑地整備」

- 県補助事業)
  - 西倉地区
    - 上ノ原農道新設、舗装工事(改良二一三三m、舗装六〇九m)
    - 岩平畑地整備ため池舗装工事(面積一、三四〇㎡)
    - 岩平畑地整備付帯工事(面積一、二八〇㎡)など、総事業費三、九三六万八千円。
    - 上川地区
      - 集落道相川線改良舗装工事(改良五二八m、舗装一四〇m)
      - 牛ヶ島農村公園造成工事(面積二、〇〇〇㎡)
      - 武道窪、牛ヶ島、十二又、相川排水路改修工事(総延長一、二四四m)など、総事業費七、一〇四万八千円。
      - 木沢地区
        - 日影農道改良工事(八八九m)
        - 妙光農道改良、舗装工事(改良七五六m、舗装七三九m)、木沢農道改良及び法面保護舗装工事(改良五三三m、面積一、四〇〇㎡、舗装三六四m)
        - 日影用水路改修工事(七〇六m)
        - 集落道木沢線改良工事(四〇m)など、総事業費七、二〇九万六千円。
        - 団体営かんがい排水事業

- (国・県補助金)
  - 前島用水路改修工事(三〇一m) 総事業費八六二万六千円。
  - 県単農業生産基盤整備事業
    - 牛ヶ島、上の原、前島地区水路、道路、排水路改修(良)工事(総延長八八一m)、総事業費一、七〇〇万円。
    - 農地農業用地設災害復旧
      - 水路(野田、下田島、八郎場)災害復旧4件、ため池(野田)災害復旧一件
    - 県農林水産業総合振興事業
      - 西倉集落開発センター一棟



▲「日影農道改良舗装」木沢地区



▲西倉集落開発センター



▲観光レクリエーション地区施設整備事業  
レストハウス(左)とモニュメント(右)

- (延面積二一九・二四㎡)、総事業費一、一九八万九千円。
- 第三期山村振興対策事業 (国・県補助事業)
  - 田中(田麦山)用水路改修工事(一、七四七m)、総事業費一、一八四万六千円。
  - 水田農業確立対策事業
    - 転作目標面積七〇haに対して、七一・八haを達成、達成率は一〇二・六%。
    - 地域農政推進対策事業
      - 中核農家の育成、実証ホ設置、農地流動化促進など。
      - ふるさと便
        - 都会の皆さんに、町の特産品(山菜、メロン、スイカ、

### うるおいのある環境の整備

- 観光レクリエーション地区施設整備事業(家族旅行村)
  - この事業は、県の家族旅行村の指定を受け、国・県の補助事業を導入し、昭和六十一年度から建設が進められていたもので、今年度が最終事業年度。
  - ▼管理棟
    - レストハウス棟(一五〇㎡)
    - ▼管理棟
    - ▼ピクニック緑地
      - エントランス広場(六、〇〇〇㎡)、ピクニック広場(六四、〇〇〇㎡)、ドングリ池(四、五五二㎡)、青空音楽広場(一ヶ所)、東屋(一ヶ所)、流れ、滝、島(一式)、園路(五三〇m) 外灯(十一基)、植栽(一式)、芝張り(一式)
      - ▼水処理施設

- 給水施設(一式)、合併処理槽(二六・八㎡/日)
- ▼ファミリーゴルフ場
  - 照明設備(九ホール)、コース改良(一ホール)
  - ▼モニュメント(一基) エントランス広場)
    - などが今年度完成しました。これにより、これまでに完成した、オートキャンプ場、ファミリーゴルフ場、ローラースケートロードとともに、素晴らしい施設が出来上がりました。今年度事業費は一億七七一〇万二千元。

- 昭和三十八年にオープンした総合スポーツ、レクリエーション施設の総合運動公園と家族旅行村の施設を総称して「野外学習のむら」と名付け、今、民間によって進められている「生涯学習のむら」、そして町の文化遺産である荒屋遺跡や西倉遺跡を活用した、「原始古代むら」の三つのむらづくりによる滞在型家族旅行村、愛称キャンパス川口の建設、即ちこの三つの「むら」づくりによるユートピアの建設を進め、うるおいと安らぎ

### 福祉・健康

- 精神障害者、腎臓機能障害者医療費助成
- 特定疾患、精神障害者交通費助成
- 父子手当
- 住民検診
- 予防接種
- 家庭奉仕員の派遣
- 人間ドック助成
- 肺ガン検診
- 町民体育祭、町民ハイキング、町民雪まつり、各種スポーツ大会
- 献血事業



▲献血事業



▲「敬老会」9月11日 総合福祉センターで

長年にわたり、社会に尽力されてきたお年寄りを敬愛し、長寿をお祝いする敬老の日を迎えて九月十一日、総合福祉センターに七十五歳以上の方を招いて、敬老会が、今年も盛大に開催されました。

# 敬老会

## 長寿を祝福し

### 町の長寿最高は 百歳笹崎キクさん(小高)

長年にお祝いする敬老の日を迎えて九月十一日、総合福祉センターに七十五歳以上の方を招いて、敬老会が、今年も盛大に開催されました。

九十歳以上二百六十八人 女性が3分の2

今年の敬老会該当者七十五歳以上の方は、昨年より十四人多い四百八十四人。このうち年齢別では、百歳以上が一人、九十歳以上二十五人、八十歳以上二百四十一人、七十五歳以上二百七十七人で、男女別では、女性が全体の約三分の二を占め、九十歳以上にあつては、二十六人中二十一人が女性で、女性の長寿が圧倒的となっています。また、米寿(八十八歳)を迎えられた方は十五名。金婚は昨年より五組多い十組の方が迎えられました。

町の長寿ナンバーワンは百歳の笹崎キクさん、つづいて九十六歳の山田ナカさん。いずれも女性で、次に九十四歳が二人、九十三歳二人、九十



▲90歳以上の方を「訪問」 右、喜多村孫太郎さん(94歳)

二歳七人、九十一歳六人、九十歳七人と続き、男性の長寿最高は、九十四歳の喜多村孫太郎さん(上河原)。九月五日、青柳町長は、この九十歳以上の方々を訪問し、長寿をお祝いしました。

潤おいと 安らぎをテーマに

この日、福祉センターには該当者の約七割にあたる三百三十人余が出席、元気なお年寄りの人達で会場はいっぱい。お互いの健康を祝うとともに、青柳町長をはじめ、郡社会福祉事務所長、町議会議長から祝福を受けた。

## 平成2年度長寿慶祝90歳以上の皆さん

(明治34.3.31以前生 敬称略)

住所	氏名	年齢	世帯主	住所	氏名	年齢	世帯主
小高	笹崎キク	100	義高	木沢	星野カネ	91	幸一郎
中新田	山田ナカ	96	萬平	川口1	笹崎浅太郎	91	房男
岩出原	岡村マツ	94	隆好	山ノ相地	黒島マツ	91	賢一
上河原	喜多村孫太郎	94	本人	川岸	小西トル	91	宇根イツ子
木沢	星野フミ	93	武男	中山	古田島トク	91	博英
中新田	関トメ	93	正一	相川1	鈴木作蔵	91	猛
前原	涌井シゲ	92	加一郎	上河原	関亀太郎	90	龍馬
武道窪	綱富子	92	喜由	中山	古田島ヨシ	90	博
相川2	広井フジ	92	政市	大形	大淵トク	90	重信
上河原	丸山正規	92	東威	川口5	岡村コヤ	90	隆一
大形	小川キイ	92	博	原新田	中沢マキ	90	健典
川口1	阿部サノ	92	高吉	相川1	星野マサ	90	富幸
新敷	山田タノ	92	己吉	原新田	小宮山ヒデ	90	春雄

この中で、青柳町長は、長年にわたって尽力されてきたお年寄りの皆さんに感謝し、長寿を祝うとともに、人生八十歳時代を迎えている中、「健康に十分注意して、こんどは皆んなで九十年時代に挑戦しよう」と呼びかけ激励した。そして、この敬老会を「若かえって後輩(私達)に気合いを入れる会にした」と述べ、町づくりなどに積極的な指導を願った。そして、いま町が進めている「野外学習のむら」づくりや「生涯学習のむら」づくりなどによって、親子ともどもがふれあう場づくりを行い、潤おいと安らぎをテーマに行政を進めたいと、今後の町づくりの抱負などを語り協力を願った。

このあと、米寿と金婚を迎えられた方に、御祝状と記念品が贈られ、町民踊研究会による踊りなどのアトラクションを楽しんだ。

### 国民健康保険

収入 2億8,151万円  
支出 2億5,153万円



### 老人保健

収入 3億1,959万円  
支出 3億1,846万円



### 簡易水道事業

収入 1億8,785万円  
支出 1億8,021万円



### 下水道事業

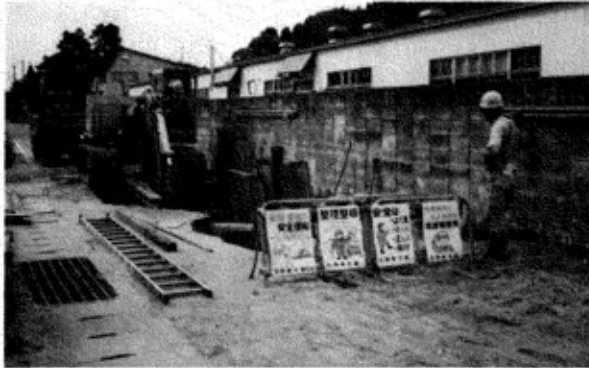
収入 3,590万円  
支出 3,524万円



### ガス事業

収益的収支  
収入 1億4,619万円  
支出 1億4,283万円  
資本的収支  
収入 919万円  
支出 3,832万円

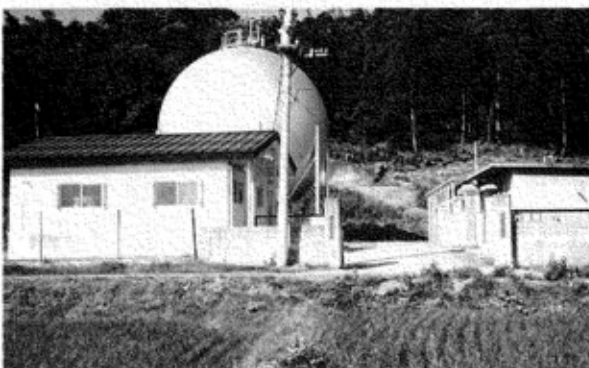
## 特別会計



▲「下水道本管」掘削工事(前島地内)



▲牛ヶ島地区水源ポンプ室



**国民健康保険**

- 加入世帯 七三七
- 被保険者数 二、〇一七八
- 一般被保険者数一、八六八八(うち老人保健医療給付対象者三六〇人) 退職被保険者等一四九人
- 一人当たり保険料額 五八、八四六円(一世帯当たり保険料額一六一、〇四九円)

**老人保健**

- 対象者 七十歳以上の者 七二二人
- 六十五〜六十九歳の障害者 十三人

**簡易水道事業**

- 給水戸数及び給水人口 一、四一四戸、五、五一五人
- 普及率 九二・二%
- 一戸当たり一カ月平均使用料 七、四四二円
- 中央簡易水道牛ヶ島地区拡張工事(減圧弁一式、水源操作室一棟、消火栓三基、配水管延長一、五六八m)、工事費四六、五九万九千円。
- 水道本管新設工事及び改良工事等 総延長六〇八m、工事費一、一五八万一千円。

**下水道事業**

- 公共下水道事業認可設計、実施設計、地質調査を実施

**ガス事業**

- 供給戸数 一、五四四戸
- ガス販売量 一、三〇二、九七七立方メートル
- ガス管新設、改良工事 十六件、総延長 一、四六〇m(本支管一、三〇六m、供給管一五四m)工事費一、九三四万七千円

未来をみつめる  
きれいな目

10月10日は「目の愛護デー」

赤い羽根共同募金運動

共同募金 (10月1日~12月31日)



▲「荒屋遺跡」発掘調査現場

# 「荒屋遺跡」の発掘調査記録の刊行

## 貴重な荒屋遺跡

町の教育委員会では、昭和六十三年と平成元年の二度にわたる荒屋遺跡発掘調査の記録をまとめた「荒屋遺跡——発掘調査概報——」の記録書をこのほど発行、文部省をはじめ関係機関に送付しました。記録書は、発掘調査を担当した東北大学考古学研究室が編さんしたもので、写真を多く使いA四版の七十六ページ。今回の第二次、第三次調査に併せて、三十年前の第一次調査分も収録しました。希望者には有料頒布することになっています。

荒屋遺跡は、昭和三十三年に民間研究者によって発見され、三十三年に芹沢長介氏が第一次発掘調査を行い、その結果一万三千年前の旧石器時代の貴重な遺跡と判明、出土した石器は「荒屋型彫刻刀」と名付けられ、世界の考古学会から注目されていました。その後芹沢氏は東北大学教授

になられて退官、現在は同大学の名誉教授、同氏の手によって三十年前の調査に再びメスが入られることになり、今回の第二次、第三次調査が実現したものです。

今回の調査は、芹沢氏が教授をつとめた東北大学が全面的に協力して須藤隆教授が指揮をとり、約一万点の石器が発見されたほか、竪穴住居状遺構や炉あとなど十九基の遺構が検出されました。

荒屋遺跡はまだまだ解明の余地が残されているようですが、世界でも貴重なこの荒屋遺跡を川口町の大きな遺産として大切に保存したいものです。



▲荒屋遺跡の「記録集」

# 少年の主張 地区大会で奨励賞



「リーダー研修に参加して自分は変わった」

川口中 森山 章くん

章君は、「リーダー研修で学んだこと」と題して、去年県教育委員会が実施した「中学生海のつどい、北海道の旅研修」に参加した体験から、  
○自ら率先してやることの大切さと勇気  
○協力  
○集団活動の楽しさ、喜び  
○充実感

少年の主張は、中学生が学校、家庭、ふるさと、友人等のかかわりの中で、日頃考えていることや体験を発表するもの。地区大会は、広域青少年対策推進協議会など育成機関の主催で、管内の中学校代表十二人が六百人を超す聴衆の前で熱弁をふるいました。

少前、主張は、中学生が学校、家庭、ふるさと、友人等のかかわりの中で、日頃考えていることや体験を発表するもの。地区大会は、広域青少年対策推進協議会など育成機関の主催で、管内の中学校代表十二人が六百人を超す聴衆の前で熱弁をふるいました。



▲8月20日、新潟港で乗船前に出発式

# 県ジュニアリーダー研修 海のつどい——北海道へ船旅

## 小中学生 四人が参加!!

上及び北海道でグループワーク、社会見学、交歓会等の体験活動を行い、リーダーとしての資質を磨くことをねらいとして、小・中・高校生四百五十人を八月二十日から六泊七日の日程。

すべて高校生をサブリーダーとする小中混成の班編成で行動し、船中では金子知事の講話があり、各地での交流や体験学習など貴重な勉強をしたようです。

県教育委員会が主催したジュニアリーダー研修は、金子知事の重点施策の一つで、これまでと内容を一新して実施され、当町から

川口中二年 宮 徹君  
丸山 祐一君  
川口小六年 小宮山昌忠君  
関 智美さん

の四人が参加しました。

リーダーとしての資格を磨く

この研修は、県下の小・中・高校生を対象に、北海道一周の洋上集団宿泊研修で、船



▲見学などは班別行動

## 研修に参加して



川口中 丸山祐一くん

今度のリーダー研修に参加させていたいただきありがとうございます。

このリーダー研修は、総勢約四五〇人が参加した研修です。その中の一人に選ばれて、とても光栄と思っています。

最初、県の教育委員会主催とはいえ、そんな大がかりで



川口中 宮 徹くん

はないと思っていました。県知事さんやウィッキーさんや釧路市長さんなどが歓迎してくれると、これはすごい研修なんだなと思ってきました。

このリーダー研修は、船での移動や、寝泊りなどをするため、台風の接近により、船がゆれ、動かない日もありました。

ぼくは、この新潟県ジュニアリーダー研修「海のつどい」に参加し、いろいろなことを学ばせてもらいました。

これからは、いろいろなことについてほしいと思っています。

一通、二通と、むこうで出会いは、いっしょに過ごしている人達から、写真が送られて来ると、行ってよかったなあと思う今日このごろです。

出発するまでに、担任の先生をはじめ、諸先生方にいろいろと迷惑をかけてしまい、どうもすみませんでした。そのおかげで、自分は、北海道へ行くことが出来、また、自分を一まわり大きくすることが出来ました。

むこうでは、船の中の寝泊まりで、部屋には自分をふくめて八人の人達と一週間過ごしていました。その人たちとはだいぶ仲良くなれて、とても楽しい一週間をすごすことが出来ました。

行きの船内で、ウィッキーさんの講演を聞いて、とてもためになりました。函館では函館市内の小中学生との交歓会をしたり、函館山に登ったりしました。室蘭では、昭和新山の見学をしたり、有珠山ロープウェイに登りました。

釧路では、新潟県人会の人々との交歓会をしたり、摩周湖の見学をしました。最後の札幌では、自由行動となり、班長を中心に行動し、買い物や観光地めぐりをしました。帰りの船の中では、さよならパーティーをし、各分団ごとのパーティーを行いました。パーティーも終わりに近づくと鼻をすする音が聞こえてきて「な」と思いました。





歌謡ショー・抽せん会  
宝船値段あてなど盛沢山

# 農業振興まつり

催しものの  
御案内

10月21日(日)

●会場 福祉センター通り  
他

ご家族おそろいで  
おでかけください!!



◎式典・うまい米試食会……農業会館

- 受付 9:30~10:00
- 式典(優秀農家・団体表彰他) 10:00~12:00
- うまい米試食会 12:00

◎農産物品評会 9:00~ 福祉センター前

◎各種コーナー

- 牛肉即売 9:00~14:00 福祉センター前
- 野菜・苗木 8:00~14:00 福祉センター前  
(林産物含む)
- おでん 10:00~15:00 福祉センター前
- 焼肉 10:00~15:00 福祉センター前
- 焼ソバ 11:00~15:00 福祉センター前

◎ふるさと料理工夫展(手芸展含む)

◎サービスコーナー

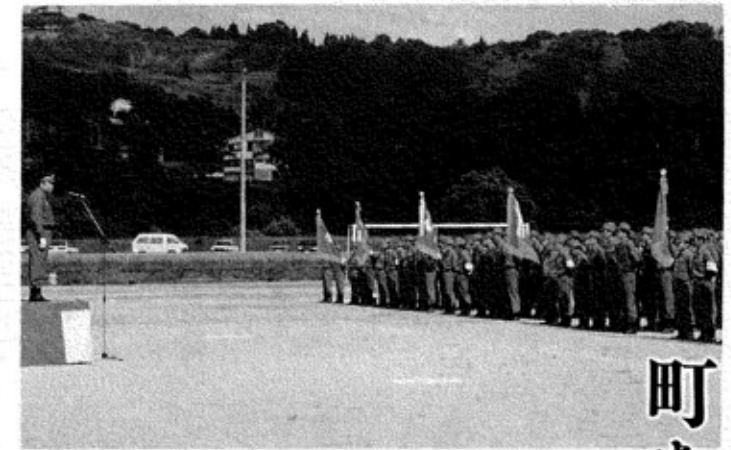
- 飲みもの } 10:00~ 福祉センター前
- ポンポン菓子・綿菓子 } 保育所前

◎アトラクション……福祉センター

歌謡ショー・抽せん会 13:00~15:30

◎宝船値段あて9:00~14:00 福祉センター前

◎錦鯉品評会 9:00~15:00 役場前広場



## 町を守る力!!

### 消防団総合演習

災害発生に備え訓練

▲団旗を先頭に消防団が集結  
「訓辞」を行う青柳町長

演習参加人員と消防ポンプなど出動機械の報告が行われ、同二時演習が始まった。

規律訓練や放水演習など……

点検、「分列行進」の規律訓練をはじめ、消火活動に備えた「機械器具の点検」、「ポンプ操法の模範演技」、実践さながらの「放水演習」が行われた。中でも分列行進は、消防団の意気と団結を誇示する大団の訓練、参加した総勢二百四十人の堂々たる行進が行われ、

また、ポンプ操法の模範演技では、第四分団(西川口)があたり、火災を想定した一連の消火活動と消火活動における指揮伝達などの規律動作が演じられ、その迅速果敢な演技に、来賓席や消防団員から大きな拍手を受けていた。そして、演習のハイライトは放水演習、川岸町の魚野川左岸に消防ポンプ十二台が集結放水ラッパを合図に一斉に放水、町を守る力、実践さながらの消防団の力強い訓練が展開された。

消防団の幹部として活躍され今年退団された方や消防団活動に功績、精進された方に、町長表彰が行われ、感謝状や記念品などが贈られた。また日本消防協会をはじめ、県知事、県消防協会などの表彰状の伝達も行われ、消防活動に功績された方々が表彰された。

町消防団総合演習は九月二日(日)、川口中学校グラウンドで消防団員二百四十人が参加して行われた。  
これは、万一の災害に備え消防団の団結と敏速且つ適正な行動により、災害の軽減を図ることを目的に、毎年この時期に行われているもので、町民の財産、生命を守る消防団活動における訓練の総合版。午後一時五十分、ラッパ隊による集合ラッパを合図に全員が集合整列。まず、総指揮者の綱消防団長から、本日の



▲人員・姿勢・服装の点検



▲機械器具の点検



▲放水演習



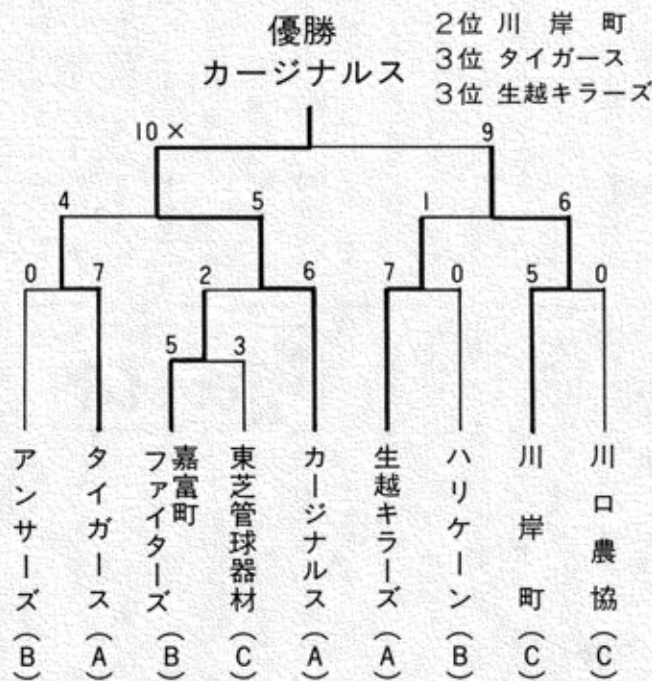
▶分列行進

スポーツの町宣言



をいう方式で所属ブロックは前年の勝数を基準にして定められ、予選リーグから選り抜けないの抜けないしくみになっています。

町民野球大会決勝トーナメント



七月八日に開幕した町民野球大会は、町長杯の争奪をかけた十六チームが参加、三カ月の長期シリーズも好天候に恵まれて順調に日程が消化でき、カージナルスが優勝杯を獲得してこのほど幕を閉じました。

町長杯争奪 町民野球大会が閉幕  
優勝杯は カージナルスが獲得

決勝トーナメントは ナイター戦

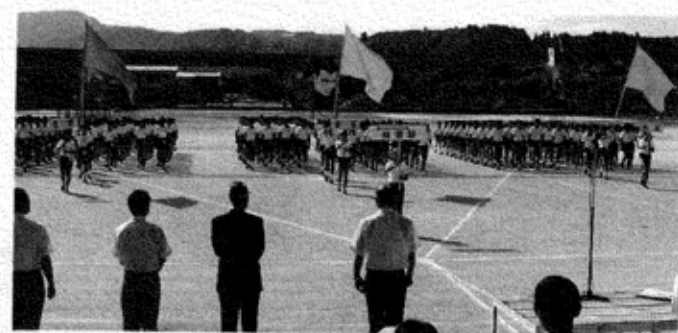
大会は、初日以外はすべてナイターで行われ、ABCブロックの子選を勝ち抜いた上位の九チームによって、決勝

決勝戦は エキストラ イニング

決勝戦は川岸町が善戦して先行しましたが、カージナルスが追い上げて五対五のまま勝負がつかず、昨年大会と同じにエキストライニングに入り、ノーアウト満塁の場面を設定して再開、後攻めのカージナルスが最後に長打をきめてサヨナラ勝ちをしました。また、決勝トーナメントに進んだチームから選ばれた優秀選手に賞品が贈られました。

チーム	氏名	ポジション
生越キラース	関博之	センター
タイガース	綱敏夫	ファースト
カージナルス	石坂俊	キャッチャー
ハリケーン	阿部晴	レフト
アンサーズ	岡村敏	センター
嘉富町ファイターズ	星野弘	サード
東芝管球器材	高野明	セナー
川口農協	川村真	サード
川岸	小宮篤	ライ

優秀選手に選ばれた9人



▲三軍が勢揃い。体育祭は、文化祭と交互に一年おきに実施され、今年で第10回目。

川口中で体育祭

青春の炎を燃やし 思いきりハッスル!!

「青春の炎を燃やせ、ここに」……をスローガンに九月九日、川口中学校で体育祭が華やかに盛大に繰り広げられた。



▲「黄軍」のオリジナル



▲「青軍」のオリジナル

「思いきりハッスル!!」をテーマにした創作舞踊(写真)、軍、そして生徒の団結と練習の成果を発表する場でもある。発表では、各軍とも見事な団結と演出を披露し、先生や応援にかけつけたお父さんやお母さんから盛んな拍手を受けていた。競技部門では、特に女子の騎馬戦、男子の棒倒しに、思



▲「赤軍」のオリジナル

いきり青春をぶつけ、果敢にハッスル。クライマックスは三軍対抗リレー、軍の優勝をかけて全力投球、力いっぱい走っていた。応援部門では、終始声を張り上げ、軍の団結を誇示しながら元氣な応援を繰り広げ、体育祭を盛り上げていた。

おじいさん おばあさんも参加

なお、川口中は今年から福祉研究指定校に指定されており、町内のお年寄りを招き、福祉レースも行われ、おじいさん、おばあさんに、生徒から盛んな声援が飛び、体育祭は和気合々の中で繰り広げられた。

そして、戦かいの後のもう一つの目玉は閉祭式。皆んなで仲良くフォークダンスやキヤンドルサービスで、楽しい夕べのひとつを過ぎた。



▲元気に「応援」



▲「騎馬戦」



▲「棒倒し」

ニュースポーツ

グラウンドゴルフ 講習会のご案内

問い合わせ 教育委員会社会教育係 ☎89-3111 (内線171)



地区	日時	会場
木沢	10月10日(水) 午前10:00~12:00	木沢小学校 グラウンド
東部	10月14日(日) 午前10:00~12:00	沖の島 スポーツ広場
上川	10月21日(日) 午前10:00~12:00	泉水小学校 グラウンド

40歳からの健康週間  
10月10日～16日

# 生活習慣の見直しが必要な時期

働き盛りの40代は、家庭や職場の大黒柱です。家庭では子供を育て、職場ではリーダーシップをとりながら手腕をふるう、まさに“油のった時期”といえるでしょう。しかし、体調に変化が表れるのも



40代です。体力が衰え始めているにもかかわらず、精神的にはまだまだ若いつもりでいる——このギャップに気付かずに、20代、30代のつもりで無理をし、成人病などの病気になることが多いのです。

ストレスが生まれやすくなります。仕事と余暇をバランスよくこなし、心にゆとりをもって毎日を送りたいものです。

## ▶成人病にかかりやすくなる年代

40代は、“成人病の入口”といわれています。がんや心臓病、脳卒中などにかかりやすくなる年代に入ったということです。こうした成人病を防ぎ、健康な老後を過ごすためには、この時期の生活習慣を見直す必要があります。

まず、肥満に注意することです。肥満は内臓を圧迫し、運動するとき体に負担をかけます。できるだけベスト体重を維持するよう、心がけましょう。また、変化のある、栄養バランスのとれた食事をするなど、食生活の改善を図りたいものです。

適度な運動も必要です。ラジオ体操や散歩など、手軽にできて長続きするものを始めましょう。適度な運動は、足腰の老化を予防し、持久力の低下を防ぐことにもなります。

また、ストレスをためないようにしましょう。40代は、社会的にもさまざまな責任が出てくる年代で、

## ▶定期検診を受け自己管理を始めよう

平成32年（西暦2020年）には、全人口に占める65歳以上の割合は、23.6%になると予測されています。国民の約4人に1人が、老人ということになります。

いまから問題となっているのは、寝たきり老人対策と痴呆性老人対策です。厚生省では、「寝たきり老人ゼロ作戦」を展開し、原因となる病気やけがの発生予防をPRし、情報網の整備、在宅福祉サービスの充実を進めていきます。

10月10日から16日までは、「40歳からの健康週間」です。この機会に、定期検診を受けたり、生活習慣を見直したりして自己管理を始め、楽しい老後を過ごす第一歩にしてみたいかがでしょうか。

**食生活改善普及運動月間**  
**カルシウムを増やし 脂肪と塩分を減らそう**  
「食べる」ことは、運動や休養とともに、健康を支える三要素の一つです。厚生省は、毎年、国民栄養調査を実施しています。一人一日当たりの栄養素摂取状況をみると、全体的には良好なのですが、個別にみると次のような傾向がみられます。  
①カルシウムが不足がち  
②摂取エネルギーに占める脂肪の割合が増加  
③ここ数年続いていた塩分摂取量の減り方が鈍ってきた  
これらは、骨が折れやすくなる骨粗しょう症をはじめ、がん、心臓病、脳卒中などの発症と深い関係があります。  
●カルシウム  
**食物からしっかりと補う**  
カルシウムは、栄養剤などからとるのではなく、食物からしっかりと補うようにしましょう。牛乳やチーズなどの乳製品、小魚、海藻などは、カルシウムの宝庫です。  
子供（幼児期）は一日千mg以下

上、大人は一日六百mg以上をとるようにしたいものです。  
●脂肪  
**動物性に偏らない**  
摂取エネルギーを100%とした場合、脂肪の割合は、20〜25%が理想です。しかし最近、25%を超える世帯が増えってきました。  
二五%を超えたからといって、すぐに病気になるわけではありません。しかし、脂肪の多い食生活は、心臓病や乳がん、大腸がんなどの発症と深い関係があります。  
また、脂肪は量だけでなく、質のあり方も大切です。動物性脂肪（魚類を除く）に偏ることなく、魚類および植物性食品などからバランスよく摂取するようにしたいものです。  
●塩分  
**一日十g以下を目標に**  
十二・二g——これは昭和六十三年における、一人一日当たりの塩分摂取量です。前年に比べ、0・5g増えています。厚生省が目標としている塩分摂取量は、一人一日当たり十g以下（アメリカは五g）です。地域別にみると、北海道や東北、北関東や北陸などでの摂取が多く、「東高西低」の傾向にあります。塩分をとりすぎる食生活は、血圧の上昇などの原因となり、一日十g以下に抑えるよう、低塩・減塩などの工夫をしましょう。  
十月は、食生活改善普及運動月間です。今年のキャッチフレーズは、「増やそうCa<sup>+</sup> 減らそうNa<sup>+</sup> 運動」です。Caはカルシウム、Naはナトリウム（塩分）のことです。カルシウムを増やし、脂肪と塩分を減らそうということです。栄養バランスのとれた食事をもとに、適度な運動、十分な休養を加え、健康な生活を心がけたいものです。



り塩分摂取量です。前年に比べ、0・5g増えています。厚生省が目標としている塩分摂取量は、一人一日当たり十g以下（アメリカは五g）です。地域別にみると、北海道や東北、北関東や北陸などでの摂取が多く、「東高西低」の傾向にあります。塩分をとりすぎる食生活は、血圧の上昇などの原因となり、一日十g以下に抑えるよう、低塩・減塩などの工夫をしましょう。  
十月は、食生活改善普及運動月間です。今年のキャッチフレーズは、「増やそうCa<sup>+</sup> 減らそうNa<sup>+</sup> 運動」です。Caはカルシウム、Naはナトリウム（塩分）のことです。カルシウムを増やし、脂肪と塩分を減らそうということです。栄養バランスのとれた食事をもとに、適度な運動、十分な休養を加え、健康な生活を心がけたいものです。

**◆防虫剤の試買テスト結果**  
10月1日～10月8日  
※緊急な消費生活情報は予定を変更することがあります。

**◆加工剤・クリーニング溶剤**  
による皮膚障害  
10月22日～10月29日  
※情報は正午に切り替えられます。

**◆照明に気配り**  
10月15日～10月22日

**◆消費生活相談事例↓電話で呼出されて契約した英会話教材**  
10月22日～10月29日  
10月29日～11月5日

## 消費者情報

# 10月テレホンサービスのお知らせ



今すぐ暮らしに役立つ消費者情報「ハイ県くらしのダイヤル」です。

**秋の行政相談週間**  
10/14～10/20  
**行政相談員はみなさんの身近な相談役**  
一、期日 十月十六日(火) 午前九時～十二時  
二、場所 末広荘(老人憩の家)  
三、行政相談委員 関 市作  
なお、人権擁護委員(中村孝彰、内藤益郎)、心配ごと相談委員(桜井仁夫)の出席をいただき、広く受付いたしますので、お気軽にお出かけください。  
相談はいつでも無料で、秘密が守られます。  
※なお、相談は各相談委員の自宅にて、毎日受けつけています。

## 暮らしのワンポイント

コーヒーやお酒などを、お気に入りのブラウスやスポンにこぼし、染みをつくらせてしまったら、このように対処しましょう。

### 染み抜き

## アメには大根おろしを

裏に厚手の布をあてがい、水で手早くたたいてふき取る。あるいは、糖分の入っていない炭酸水を布にたっぷり含ませ、同じ要領で下の布にたたき移します。  
果汁の染みは、ほうちておく茶色になって残ります。すぐに濡れたタオルでつまめば落ちますが、時間がたつてしまつたらホウ酸水か大きめのコップ一杯にアンモニア水を布に含ませ、汚れを下の布にたたき移し、後を水洗いします。アメの染みは、大根おろしを使います。大根おろしをガーゼに包み、染みの部分をたたき、大根に含まれるジアスターゼがアメを溶かし、染みを取りやすくなります。後は水で絞つたタオルでふき取れます。

